

●協働学習 ■同時進行型

実践タイトル 電子黒板を用いた活動の方法・結果を共有

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板、デジタルカメラ

・活動の方法をデジタルカメラのビデオ機能で取り込んで提示することにより、具体的な指示を明確にする。

活動の方法を撮影した動画、児童の結果を撮影した静止画

・児童の活動の結果を提示しながら発表させることにより、視点を明確にさせる。

参考にしてほしいポイント

- ・事前に実施した他のクラスの児童が活動している様子を動画で見せることで、学習への興味を高め、グループ内での児童の動きをしっかりと把握させる。
- ・活動の際の注意点を理解させるため、動画の分かりやすい場面で一時停止し、説明する。
- ・結果の静止画を、拡大したり、ペンで書き込んだりすることで、比較の方法の視点を明確にさせる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・前時で考えた水の量の比べ方(直接比較・間接比較)を思い出し、学習課題をつかむ。 どちらがおおくはいるか2つのほうほうでくらべよう。	
展開 10 36	・直接比較の方法を、動画を見て確認し、自力解決(グループで)し、ノートに考えを書く。 ・静止画を見ながら、自分の考えを発表する。 ・間接比較の方法を、動画を見て確認し、自力解決(グループで)し、ノートに考えを書く。 ・静止画を見ながら、自分の考えを発表する。	・他のクラスの児童が活動した様子を撮影した動画(写真1) ・児童が活動した結果の静止画 ・他のクラスの児童が活動した様子を撮影した動画 ・結果の静止画(写真2)
まとめ 36 45	・自分たちの結果をもとに、どうなると水の量が多いかを、静止画を見て理解し、学習のまとめをする。 ・適用問題に取り組む。	・電子黒板のペン機能を使って書き込んだ、児童が活動した結果の静止画(写真3) ・デジタル教科書



写真1: 活動の方法の動画を提示し、注意点を説明



写真2: 活動の結果の静止画を見ながら、児童が説明

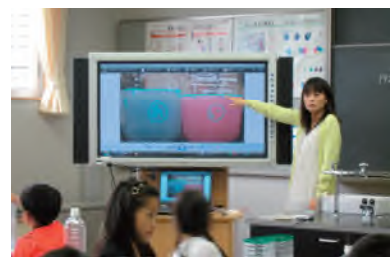


写真3: 教師が電子黒板にペンで書き足して補足説明し、まとめる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・他のクラスの児童が、これからしようとしていることと同じ活動をしている様子を見ることができたので、すぐに活動に入ることができた。
- ・水の量がどうなると多いのかを、拡大した静止画で確かめることができたので、よく理解していた。

活用効果

評価の観点	・数学的な考え方	具体的変容	・どちらが多いということはすぐに理解できたが、どうなると多いのかという理由付けが難しく、結果の静止画を見て確認することで考察を深めることができた。
-------	----------	-------	---

実践の手応え

- ・活動の方法について説明するために、事前に教師の示範映像を撮影していたが、実際に活動している児童の動画の方が、より興味を高め、指示も徹底させることができた。
- ・1年生の児童にとって、なぜ多いといえるのかという理由付けが難しく、結果の静止画を見ながら表現方法を考えることで、自らの思考を深めることができた。